

事務局通信

日本高校教育学会第24回大会が、初開催となる北海道で開催され、42名(会員38名、非会員の公開シンポジウム参加者4名)の参加がありました。

総会に続いての研究発表では、12件の発表がありました。

また、本年度は「新制高校70年を総括してこれからの高校教育を考える—北海道における高校の過去・現在・未来を通して—」をテーマにシンポジウムを行いました。飯田浩之会長をコーディネーターとし、筑波大学の大谷奨氏、大鐘秀峰会員(北海道札幌北高等学校)、岡部善平会員(小樽商科大学)をシンポジストとして迎えました。大谷氏からは「歴史的に見た北海道の高校の特質—設置者問題の連続性—」、大鐘会員からは「北海道の高校の展開」、岡部会員からは「新制高校70年」の問い直しからの報告がありました。その後、活発な議論の交換があり、盛会のうちに終了となりました。

以下、総会報告を行います。

I 第24回日本高校教育学会総会 報告

第24回大会は、以下の次第で行われました。

- (1) 期日 平成28年7月16日(土)
- (2) 会場 北海道大学 学術交流会館
- (3) 日程

| | |
|-------------|--|
| 11:00~11:30 | 理事会(第4会議室) |
| 11:30~12:00 | 受付 |
| 12:00~12:30 | 総会(第1会議室) |
| | 1 会長挨拶(会長 飯田浩之) |
| | 2 実行委員代表挨拶(実行副委員長 大鐘秀峰) |
| | 3 議長選出(議長として前事務局長 石代晃司 を指名・承認) |
| | 4 報告事項 |
| | (1) 会務報告(前事務局長 石代晃司, 事務局長 小粥俊輔) |
| | (2) 支部研究会報告(静岡支部:山崎保寿, 北海道支部:大鐘秀峰) |
| | (3) 『年報 第23号』編集委員会報告(編集委員長 山崎保寿) |
| | 5 審議事項 |
| | (1) 2015年度(平成27年度)決算報告について(事務局長 江崎好孝) |
| | (2) 監査報告(監査 川口有美子) |
| | (3) 2016年度(平成28年度)事業計画について(事務局長 小粥俊輔) |
| | (4) 2016年度(平成28年度)予算案について(事務局長 江崎好孝) |
| | (5) 『年報』投稿規定の改正及び、つくばリポジトリ登録について(編集委員長 山崎保寿) |
| | (6) 次期学会開催場所及び日程等について(会長 飯田浩之) |
| | (7) 次期事務局について(事務局長 小粥俊輔) |
| | (8) その他 |

【研究発表】

| 会場 | 第3会議室 | 第4会議室 |
|------------------------|--|--|
| 部会名 | 第一部会 | 第二部会 |
| 司会 | 小島 弘道(筑波大学名誉教授) | 山口 満(関西外国語大学) |
| 発表① 12:40 ~13:05 | 山口 晴敬 (北海道札幌月寒高等学校) 「高校教師が直面する課題の検討~教職経歴に 着目して~」 | 高橋 智子 (筑波大学大学院) 「高等学校における学生の学校支援ボランティア に関する検討—フレックススクールでのキャン パスエイド活動の実践に着目して—」 |
| 発表② 13:05 ~13:30 | 三関 直樹 (北海道札幌藻岩高等学校) 「進路形成における「悩み」のゆくえ」 | 木村 哲也 (北海道教育庁学校教育局) 「北海道子ども相談支援センターの取組について」 |
| 発表③ 13:30 ~13:55 | 津多 成輔 (筑波大学大学院) 「大学との“物理的”距離が大学進学意識におよぼ す影響」 | 石森 広美 (宮城県仙台二華高等学校) 「アクティブ・ラーニングを促す言語活動を主軸と したアセスメント手法の検討」 |
| 13:55~14:05 | 休 憩 | |
| 発表④ 14:05 ~14:30 | 滝田 尚誠 (北海道立教育研究所) 「指導主事に関する研究の今後の可能性」 | 浜 泰一 (東京大学空間情報科学研究センター) 「SSH 課題研究授業における論文作成指導」 |
| 発表⑤ 14:30 ~14:55 | 石代 晃司 (静岡県立科学技術高等学校) 「伝統進学校における高等学校部活動の研究 —『文武両道』の教育理念に着目して—」 | 山崎 辰也 (北海道北見北斗高等学校) 「経済概念を活用する力を高める評価の在り方 —「貿易ゲーム」の改変を通して—」 |
| 発表⑥ 14:55 ~15:20 | 関 朋昭 (名寄市立大学) 「コンピテンシーを育む教育実践—部活動の新パ ラダイム—」 | 山崎 保寿 (静岡大学) 「特別活動を活用したアクティブ・ラーニングの導 入に関する研究—カリキュラム・マネジメントと の連動を推進する校内研修—」 |
| 15:20~15:30 | 休 憩 | |

| | |
|------------------------------------|--|
| シンポジウム 15:30 ～17:00 第1会議室 | テーマ「新制高校70年を総括してこれからの高校教育を考える —北海道における高校の過去・現在・未来を通して—」 コーディネーター 飯田 浩之(筑波大学) シンポジスト 大谷 奨 (筑波大学) 大鐘 秀峰(北海道札幌北高等学校) 岡部 善平(小樽商科大学) |
|------------------------------------|--|

II 第24回大会 総会内容

1 報告事項

(1) 会務報告

- ① 会員数 …… 発送数 180名 (2016年7月8日現在)
 2015年度会費納入者 113名 (2016年7月8日現在)
 5年会費未納者 1名 (2016年7月8日現在)
 住所不明者 1名
 退会者 3名 (内訳：希望退会2名，未納による会員資格失効1名)
 入会者 20名 (内筑波大学大学院生4名)
- ② 2015年度(平成27年度)事業報告 ※一部2016年度事業を含む
 2015年7月18日 日本高校教育学会第23回大会開催(筑波大学)
 2015年7月21日 「事務局会議」(大会の反省・『年報第22号』発送)
 2015年8月20日 『月刊高校教育10月号』原稿入稿(第23回大会報告)
 2015年12月末 『年報第23号』論文投稿締め切り
 2016年2月13日 『年報第23号内事務局通信』原稿入稿
 2016年2月16日 日本教育学会機関誌『教育学研究』大会日程等の原稿入稿
 2016年3月2日 「事務局会議」(事務局引き継ぎ)
 2016年3月16日 「第24回大会事前案内」発送
 2016年4月25日 「事務局会議」(「大会案内」「年会費振込依頼書」の発送)
 2016年5月6日 『年報第23号』原稿受け取り
 2016年6月8日 「事務局会議」(第24回大会について)
 2016年6月22日 『年報第23号』原稿入稿(学事出版へ)
 2015年6月29日 「事務局会議」(「第24回大会実施要項」の発送)
 2015年7月12日 「事務局会議」(第24回大会受付業務確認)
 2015年7月16日 日本高校教育学会第24回大会開催(北海道大学)

- (2) 支部研究会報告 静岡地区研究会より報告(山崎保寿 会員，年報第23号102頁参照)
 北海道地区研究会より報告(大鐘秀峰 会員，年報第23号102頁参照)

- (3) 『日本高校教育学会年報 第23号』編集委員会報告(山崎保寿 編集委員会委員長)

2 審議事項

(1) 2015年度(平成27年度)決算報告

1) 収入の部

(単位：円)

| 項目 | 本年度予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|---------|------------------------|
| 会費 | 300,000 | 471,000 | 171,000 | 3,000円×157口 |
| 前年度繰越金 | 1,075,858 | 1,075,858 | 0 | 2014年度より |
| 年報販売費 | 10,000 | 0 | △10,000 | |
| 雑収入 | 0 | 23,419 | 23,419 | 原稿料，受取利子，臨時会員費，懇親会の残金等 |
| 合計 | 1,385,858 | 1,570,277 | 184,419 | |

2) 支出の部

(単位：円)

| 項目 | 本年度予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|---------|----------|----------|
| 事務局運営費 | 50,000 | 126,237 | 76,237 | 通信費 |
| 大会運営費 | 100,000 | 158,863 | 58,863 | 郵送代，事務用品 |
| 年報印刷費 | 260,000 | 249,722 | △10,278 | 210部発注 |
| 年報発送費 | 15,000 | 35,046 | 20,046 | |
| 予備費 | 960,858 | 0 | △960,858 | |
| 合計 | 1,385,858 | 569,868 | △815,990 | |

3) 決算の部

(単位：円)

| 総収入額 | 総支出額 | 差引残高 | 備考 |
|-----------|---------|-----------|-------------|
| 1,570,277 | 569,868 | 1,000,409 | 2016年度に繰り越し |

(2) 監査報告

上記会計について，諸帳簿との照合によって監査した結果，適正に執行されていることが監査役員より監査報告があり認められました。

平成28年4月29日 監査 三中登志江，同年5月10日 監査 川口有美子

(3) 2016年度(平成28年度)事業計画について

- ◆日本高校教育学会第24回大会開催(日時：7月16日 場所：北海道大学)
- ◆『年報第23号』発送
- ◆『年報第24号』編集・発行
- ◆事務局会議(第24回大会反省，引き継ぎ，第25回大会について)
- ◆第25回大会案内，実施要項等の発送

(4) 2016年度(平成28年度)予算案

1) 収入の部 (単位:円)

| 項目 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|---------|-------------------|
| 会費 | 300,000 | 360,000 | 60,000 | 3,000円×120名 |
| 前年度繰越金 | 1,075,858 | 1,000,409 | △75,449 | 2015年度より |
| 年報販売収入 | 10,000 | 0 | △10,000 | 2015年度実績 0円 |
| 雑収入 | 0 | 3,000 | 3,000 | 原稿料, 受取利息, 臨時会員費等 |
| 合計 | 1,385,858 | 1,363,409 | △22,449 | |

2) 支出の部 (単位:円)

| 項目 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|----------|----------------------------|
| 事務局運営費 | 50,000 | 70,000 | 20,000 | 2015年度実績 126,237円 |
| 大会運営費 | 100,000 | 300,000 | 200,000 | 北海道開催のため増額 |
| 年報印刷費 | 260,000 | 310,000 | 50,000 | 200部発注(見積額260,000円)年報編集費含む |
| 年報発送費 | 15,000 | 40,000 | 25,000 | 2015年度実績 35,046円 |
| 予備費 | 960,858 | 643,409 | △317,449 | 北海道開催のため減額 |
| 合計 | 1,385,858 | 1,363,409 | △22,449 | |

※上記議案は全て承認されました。

(5)『年報』投稿規定の改正及び、つくばリポジトリ登録について編集委員長から提案され、承認されました。

(6)次期学会開催日時、場所等について

第25回大会は、下記の日程・場所で実施することが提案され承認されました。

◆開催予定日：2017年7月22日(土) ◆開催場所：筑波大学

(7)次期事務局について

(8)その他

事務局より

◆本学会 HP 及び e-mail アドレスの管理運用等について

本年度も、会長より委嘱された中園会員に事務局から依頼された内容について、HP の更新をお願いしています。また、e-mail アドレスは事務局でデータを管理しています。

III 事務局長および事務局員指名について

会則第16条により、会長が平成28年4月に新事務局長を指名しましたのでお知らせします。また、同じく会則第17条により、新事務局長が新事務局員を指名しましたのでお知らせします。

事務局長 小原快章(筑波大学大学院修士課程教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻)
(所属校：静岡県立掛川西高等学校)

事務局員 新明 匠(筑波大学大学院修士課程教育研究科教科教育専攻英語教育コース)
(所属校：北海道帯広三条高等学校)

IV 新規会員の募集について

本学会の趣旨に賛同し、入会を希望される方に対しては、下記の事務局に入会申込書請求メール(書式は自由)をしてください。入会申し込みを請求された方には事務局から入会申込書を送付いたします。

入会申込書に郵便番号、住所、氏名、勤務先を記入の上、郵送して頂くとともに、下記の郵便振込口座に年会費3,000円を振り込んでいただければ入会の手続きは完了です。会員各位から入会希望者に合わせてご案内いただけたら幸いです。

| |
|------------------------------------|
| 日本高校教育学会 事務局 |
| 〒305-8572 つくば市天王台1-1-1 |
| 筑波大学大学院修士課程教育研究科 |
| スクールリーダーシップ開発専攻 内 |
| 郵便局口座 口座名称 日本高校教育学会 |
| 口座番号 00360-8-35449 |
| 事務局 E-mail nihonkoukou@yahoo.co.jp |

V 事務局連絡

(1) 過年度分の会費を未納の方は、前記の郵便振込口座に年会費(1年度につき3,000円)をお振り込みください。

(2) 日本高校教育学会の年報(第7号までは「会報」)を筑波大学中央図書館に寄贈しました。筑波大学図書館の Web ページより投稿論文名と投稿者の確認ができます。ご活用下さい。

(3) 日本高校教育学会事務局専用の Web ページが開設されており、Web ページには会則、投稿規定、過去の年報の目次、問い合わせアドレス等が明示されていますのでご利用下さい。

日本高校教育学会 Web ページ <http://www.geocities.jp/nihonkoukou/index.html>

(以上、事務局通信文責：小粥俊輔)

支部研究会活動報告

【静岡支部会】

第32回日本高校教育学会静岡地区研究会

実施日 平成28年12月10日(土)

内容 研究発表 発表者 静岡県立科学技術高等学校 石代晃司

発表題目 「伝統進学校における高等学校部活動の研究—『文武両道』の教育理念に着目して—」

論文紹介 紹介者 静岡大学 山崎保寿

論文題目 「後期中等教育における能力育成の課題—SGHを軸とした共創的関係能力育成の創出—」

「教育課程経営の実践的指導力とビジョン形成力に関する研究—教員研修の高度化を目指した教職大学院授業に基づいて—」

(文責：石代晃司)

【北海道支部研究会】

第6回日本高校教育学会北海道支部研究会

1. 実施日 平成28年11月19日(土) 12:10~17:15
2. 会場 北海道大学教育学部研究棟 大会議室
3. 参加者 18名
4. 内容

(1) 講演

講演者 筑波大学教授 黄 順姫 氏
演題 高校・大学の活性化のための「社会的資本」の活用

(2) 研究発表(発表20分, 質疑10分)

佐藤 革馬(北海道釧路江南高等学校)

「主体的で学びを深める授業づくりに必要な教員資質についての考察」

三関 直樹(北海道札幌藻岩高等学校)

「高校1年生のアンケート調査から見る成績・進路・将来像の意識～道内4校の高校1年生調査の分析からの考察～」

椿 達(北海道情報大学)

「高等学校におけるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の意義と課題について」

柳本 高秀(北海道立教育研究所理科センター)

「理科における評価～探究活動を中心として～」

後藤 寿樹(北海道札幌平岡高等学校)

「普通科フィールド制の成果と課題」

(文責：椿達)

日本高校教育学会会則

第1章 総 則

第1条(名称) 本会は、日本高校教育学会と称する。

第2条(目的) 本会は、教育に関する研究の企画、情報の交換を通じて、研究を促進し、高校教育に貢献する。

第3条(事業) 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 年報及び会員名簿の作成、刊行
2. 会員相互の研究上の連絡と協力の促進
3. 講演会、談話会、その他集会の開催
4. 教養講座、研修等の教育研修活動の実施
5. 内外研究団体との連絡提携
6. その他本会の目的に必要な事業

第2章 会 員

第4条(会員) 本会の目的に賛同する者とする。

第5条(入会) 本会に入会しようとする者は、入会申込書に会費1年分を添えて、会長あて提出する。

第6条(会員資格の喪失) 会員は、以下の事由により会員の資格を喪失する。

1. 死亡
2. 退会
3. 除名

第7条(退会) 1. 本会を退会しようとする者は理由を付した退会届を会長に提出し、受理したとき退会できる。

2. 5年以上会費の納入を怠ったものは、会員としての資格を失う。

第8条(除名) 会長は、会員が本会の名誉を傷つけたまたは本会の目的に著しく反する行為をしたときには、総会の決議に基づき、その会員を除名する。

第3章 役 員

第9条(役員) 本会には、次の役員をおく。

1. 会 長 …… 1名
2. 理 事 …… 10名+その他会長が指名する若干名
3. 監 査 …… 2名

第10条(役員を選出)

1. 会長は、理事の中から理事の選挙により選出し、総会の承認を得る。
2. 理事は、会員が会員の中から投票により選出し、総会の承認を得る。
3. 監査は、理事会で選出し、総会の承認を得る。
4. 理事の選挙権、被選挙権を有する者は前年度までの会費を納入した会員とする。

第11条(役員の任期) 役員の任期は、3年とする。ただし、再選を妨げない。

第12条(役員の職務)

1. 会長は、本会の会務を総括し、本会を代表する。
2. 理事は、本会の運営にあたる。
3. 監査は本会の会計事務の監査を行い、その結果を総会にて報告する。

第4章 事務局

第13条(事務局) 本会の事務局は、茨城県つくば市天王台1-1-1、筑波大学内に置く。

第14条(事務局の設置)

1. 事務局長 …… 1名
2. 事務局員 …… 若干名

第15条(事務局員の職務)

1. 事務局長は本会の事務処理の総括をする。
2. 事務局員は本会の事務全般を行う。

第16条(事務局長の選任) 会長は、事務局長を指名する。

第17条(事務局員の選任) 事務局長は、事務局員若干名を指名する。

第5章 会 議

第18条(会議の招集等)

1. 理事会は会長、理事、事務局長をもって構成する。

2. 理事会は会長が招集する。
3. 事務局会は事務局長が招集する。ただし、会長はその必要を認めたととき事務局長と連携をはかりこれを招集することができる。

第6章 会員総会

第19条(通常総会)

1. 通常総会は毎年1回会長が招集する。
2. 会長は、下記事項を通常総会に付議しなければならない。
 - ア 事業計画及び予算
 - イ 事業報告及び決算
 - ウ その他理事会において必要と認めた事項

第20条(臨時総会) 会長は、理事会において必要と認めたととき、または、会員の五分の一以上から審議の目的たる事項を示して請求があったときは、臨時総会を招集しなければならない。

第21条(総会の議長) 総会の議長は、出席した会員が互選する。

第22条(総会の成立及び議決)

1. 総会は、会員の五分の一の出席をもって成立する(委任状を含む)。
2. 総会の決議は、この会則に別段の定めがある場合を除くほか、出席会員の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

第7章 会計

第23条(経費) 本会の経費は会費、その他の収入をもってあてる。

第24条(会計年度) 本会の会計年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日におわる。

第8章 会費

第25条(会費) 会員は、会費(年3,000円)を納めるものとする。

第9章 会則の変更

第26条(変更) この会則の変更は、総会において出席者の三分の二以上の決議によらなければならない。

付 則

1. この会則は、平成6年2月12日から施行する。
2. この会則は、平成13年7月28日に改正し、同日から施行する。
3. この会則は、平成17年7月23日に改正し、同日から施行する。
4. この会則は、平成18年7月15日に改正し、同日から施行する。
5. この会則は、平成20年7月12日に改正し、同日から施行する。

日本高校教育学会年報 発行・投稿規定

1 発行

- (1) 年報は、年1回、7月に発行する。
- (2) 『年報』には、研究論文、実践論文(自らの実践を研究的な視点からまとめたもの)、研究ノート、その他、学会事務に関する記事を掲載するほか、編集委員会の企画により、特集論文等を掲載することができる。
- (3) 研究論文、実践論文、研究ノートについては、編集委員会にて審査のうえ、掲載の可否を決定する。査読の方法等は、別途、定める。
- (4) 掲載論文(「特集論文」「研究論文」「実践論文」「研究ノート」「特別論文」「研究動向レビュー」)は、筑波大学附属図書館が管理する、つくばリポジトリに登録する。

2 投稿

- (1) 投稿の募集は、研究論文、実践論文、研究ノートの3つのカテゴリーについて行なう。
- (2) 投稿資格は、日本高校教育学会の会員であることとする。
- (3) 投稿原稿は、未発表のものとする。但し、口頭発表及びその配布資料は、この限りではない。
- (4) 投稿原稿の分量は、研究論文、実践論文、研究ノートの各カテゴリーともに、16,000字以内(年報10頁以内の偶数頁)とする。審査の結果、カテゴリーの変更はあり得る。図表・資料等は本文に含め、完成原稿を投稿する。
- (5) 投稿論文の書式については、日本高校教育学会年報巻末に示されている論文書式に従うこと。投稿論文の原稿および電子媒体(フロッピー、CD等)は、返却しない。
- (6) 年報巻末に示された論文形式を逸脱した投稿論文は、審査の結果、不採択になることがある。また、審査の結果「掲載可」または「条件つき掲載可」と判定された論文であっても、投稿者による修正後の論文が投稿時のものと大幅に異なる場合は、再審査を行い、不採択となることもある。
- (7) 投稿の締切りは、毎年12月末日とする。
- (8) 原稿の送付先は、以下の通りとする。

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院修士課程教育研究科
スクールリーダーシップ開発専攻 内
日本高校教育学会事務局
E-mail : nihonkoukou@yahoo.co.jp
(E-mailは連絡のみに用い論文送付には用いない)

※「1. 発行(4)」リポジトリ登録に関しては、『年報第24号』から適用します。

※論文書式の質的向上のため、論文作成はできる限り「Microsoft Word」の使用をお願い致します。その場合、書式のフォーマットは、学会のホームページからダウンロードできます。また、書式のフォーマットを事務局から送付することも可能ですので、事務局(nihonkoukou@yahoo.co.jp)までお問い合わせください。

日本高校教育学会年報編集基準

← 14pt・太字 MS 明朝

—投稿論文書式の明確化について—

← 11pt・太字 MS 明朝

☒ (1行空)

日本高校教育学会 年報編集委員会

← 11pt・著者名のみ太字

☒ (1行空)

(投稿時は、空白にする)

【キーワード】日本高校教育学会、年報編集基準、投稿論文、書式の規格化、原稿締切日 ← 9pt・左詰

☒ (1行空)

1 書式の規格化について

← 10.5pt・太字 MS 明朝

用紙はA4とし、余白（マージン）は、上下 25 mm、左右 25 mmとする。論文は横書き 10 枚以内の偶数頁とし、和文書体はMS明朝、欧文書体は Century、1 頁 43 字× 38 行とする。句読点は（，。）を用いる。論文の本文は 10.5pt・MS明朝で書く。

1 行目に論文題目（副題は 2 行目に書く）、1 行あけて所属および著者名、1 行あけてキーワード、1 行あけて本文を書き始める。節が変わるごとに 1 行あける。文字サイズ等の指定は以下のとおりである。なお、この編集基準は書式の規格に則って書かれている。

表 1. 年報書式の要点

← 9pt・MS ゴシック

| | |
|----------------|---|
| ①論文題目 (Title) | 14pt・太字・センタリング・MS明朝 |
| 副題 | 11pt・太字・センタリング・MS明朝 |
| ②所属 | 11pt・MS明朝 所属は太字にしない 所属の後、一字あけて著者名を記す |
| 著者 (Author(s)) | 11pt・太字・MS明朝 ただし、投稿時は、所属と著者名は空白にすること 所属と著者名を合わせてセンタリング、共著の場合は著者数分の行とする |
| ③キーワード | 9pt, 1 行, 4~5 語, MS明朝, 左詰, 【キーワード】の部分のみ太字 |
| ④節番号・節名 | アラビア数字・10.5pt・太字・左詰・MS明朝 |
| ⑤図表等 | 名称(captions) : MS ゴシック・太字・9pt を標準 名称は、図は下部中央、 図表内の文字 : MS明朝・9pt を標準 表は上部中央に入れる |
| ⑥引用文献 (文末) | 9pt・MS明朝 ただし、【注】の部分のみ太字 |
| ⑦その他 | 2 桁以上の数字は半角、句読点は（，。）を用いる、1 頁 43 字× 38 行 |

☒ (1行空)

2 原稿締め切り日等について

(1) 引用等について

引用番号は、^①のように半角、上付 1/4 とする。論文末に 1 行あけて、【注】 (9pt・太字) として引用文献を 9pt・MS明朝で記載する。【注】部分の行間は本文の 80 %程度とする。

(2) 原稿締切日について

原稿締切は、12 月末日とする。原稿オリジナル（著者名、所属を記したもの）1 部とコピー（著者名、所属を伏したもの）3 部の合計 4 部を編集委員会へ提出する^①。図表は本文へ組み入れ、完成原稿を提出する。この時点（12 月末日）では、保存媒体（フロッピー、CD等）での提出は不要^②。特集論文については、最初から完成論文・英文氏名・英文タイトルの保存媒体を提出する。

☒ (1行空)

【注】

← 9pt・太字 MS 明朝

(1) 審査通過論文は、著者の英文氏名、英文タイトルを別紙で添付し、媒体へも保存する。 ← 9pt・MS 明朝

(2) 投稿論文審査を 1 月に行う。審査通過論文は、必要な修正を施したうえで、レーザー・プリンタで印刷し、編集委員会に 2 部提出する。その際、査読者による修正意見と修正箇所を明記したリアクションシート 1 部を提出する。論文・英文氏名・英文タイトルの保存媒体（フロッピー、CD等）も提出する。